

# 社会思想史学会

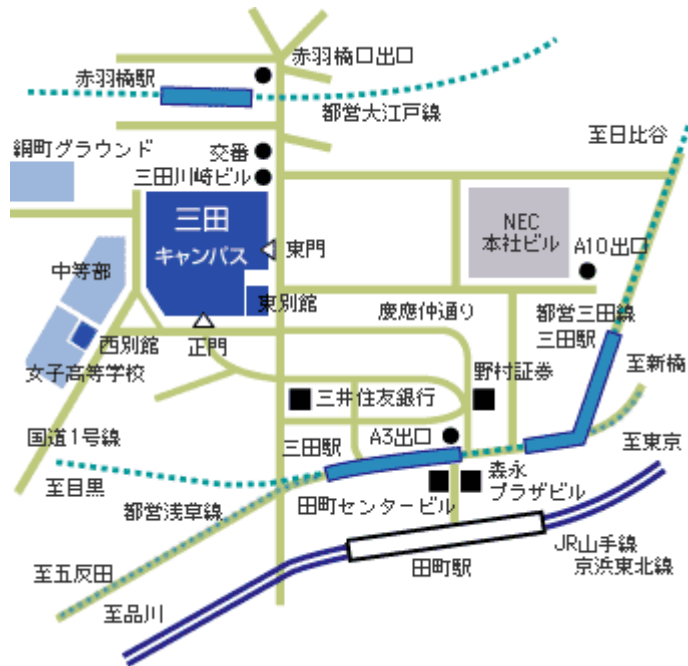
## 第 33 回大会

大会プログラム・報告集

2008年10月25日・26日

会場：慶應義塾大学 三田キャンパス

大会会場  
慶應義塾大学 三田キャンパス



〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

交通手段

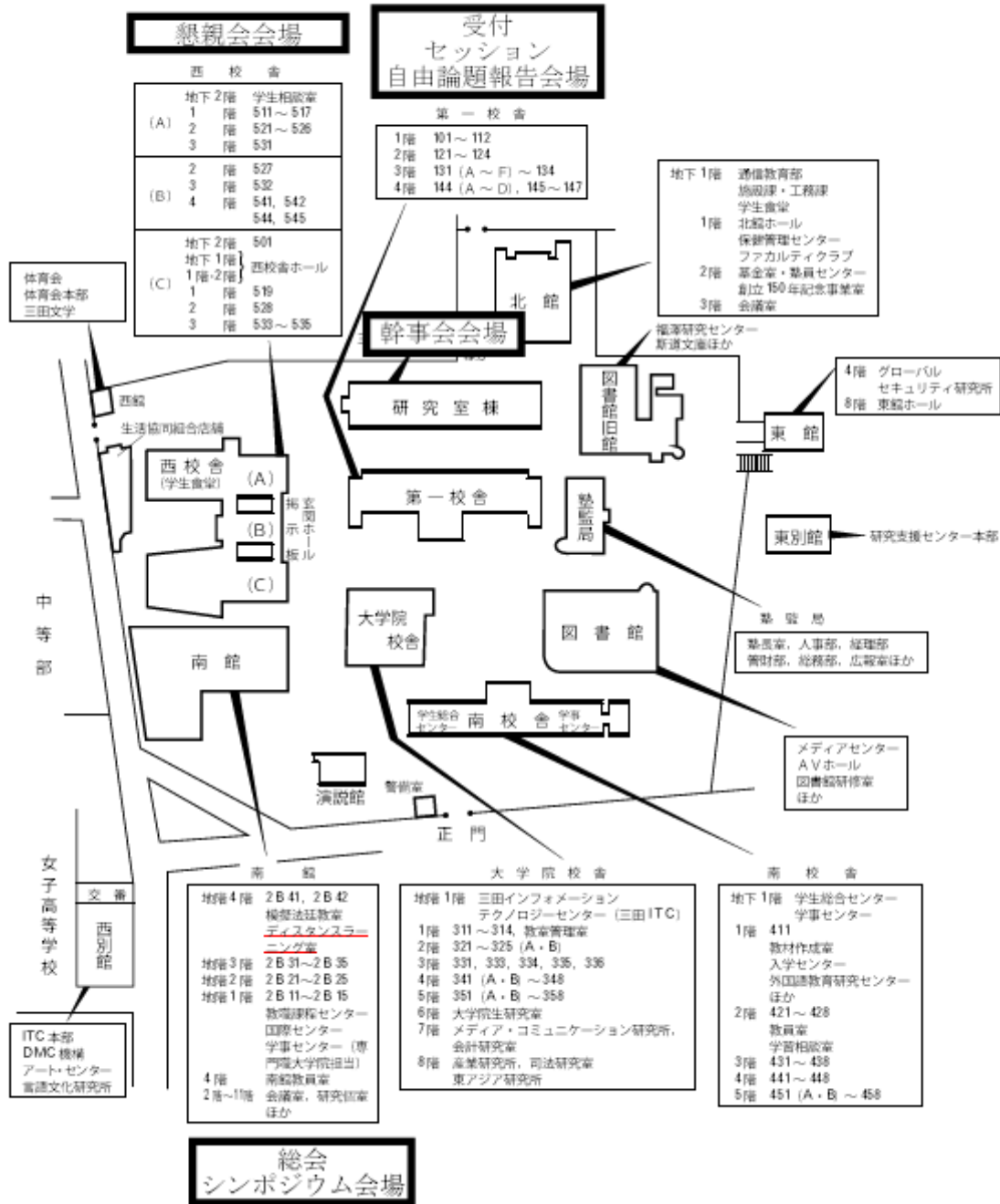
JR 山手線・京浜東北線  
田町駅下車(徒歩 8 分)  
都営地下鉄浅草線  
都営地下鉄三田線  
三田駅下車(徒歩 7 分)  
都営地下鉄大江戸線  
赤羽橋駅下車(徒歩 8 分)

東京～田町：約 10 分  
上野～田町：約 20 分  
渋谷～田町：約 15 分  
水道橋～三田：約 15 分

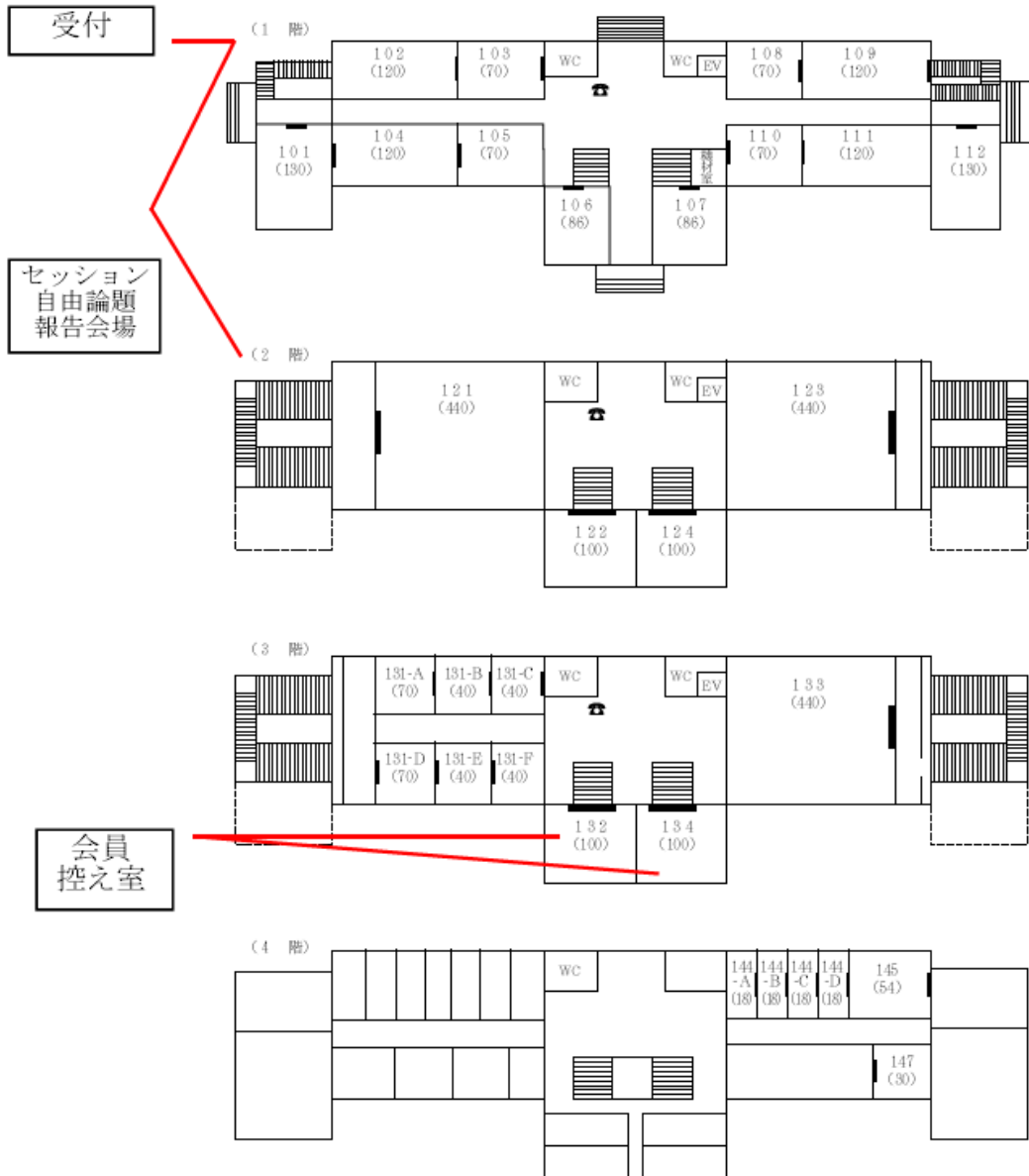
大会連絡先

〒108-8345  
東京都港区三田 2 15 45 慶應義塾大学経済学部 高草木研究室  
高草木光一  
Tel : 03-5427-1342

# 三田キャンパス構内マップ



第一校舎



☎…構内緊急内線電話

教室利用表

10月24日(金) 幹事会 17:00 - 19:00 研究室棟1階 B会議室

10月25日(土)

	第1校舎1階 108	1階109	1階110	1階111	1階112	2階122	2階124
09:00-11:00 セッション		A 18・19世紀 ドイツの社会 経済思想	B 政治思想の 変貌	C 生政治と抵 抗	D 討議デモク ラシーを討議 する	E 自由主義思 想の射程	F 日本におけ る「反グロー バル化運動」 の生成と展開
11:10-11:55 自由論題		河上睦子 (平子)	倉科岳志 (崎山)	古松丈周 (細見)	佐久間俊明 (岩崎)	山本圭 (森川)	上原賢司 (山岡)
13:00-14:00	総会 南館地下4階 ディスタンスラーニング室						
14:10-14:55 自由論題	松井尚興 (中山)	白井厚 (岩崎)	山本卓 (八田)	平田周 (宇城)	坂敏宏 (野口)	藤田公二郎 (水嶋)	高田宏史 (小田川)
15:05-17:25	シンポジウム 南館地下4階 ディスタンスラーニング室						

13:00 - 14:00 総会 南館地下4階 ディスタンスラーニング室

18:00 - 懇親会 西校舎 山食

10月26日(日)

	第1校舎1階 108	1階109	1階110	1階111	1階112	2階122	2階124
10:00-10:45 自由論題	泉啓 (宮本)	佐貫正和 (福井)	隠岐理貴 (原田)	白井亜希子 (大貫)	福田学 (佐藤)	太田悠介 (大中)	紺野茂樹 (鳴子)
10:55-11:40 自由論題	榊靖之 (田中)	大久保歩 (三島)	高原幸子 (上野)	大和孝明 (高草木)	村田玲 (石黒)	土井智義 (梅森)	桐原隆弘 (日暮)
13:00-15:00 セッション		G ヒュームと スミス		H (幹)21世紀 のカール・ポ ラニー		I 政治思想と 文学	J マルクス主 義の展開
15:10-17:10 セッション		K スコットラ ンド啓蒙研究 の現状をめぐ って		H(幹)21世紀 のカール・ポ ラニー	L (幹)政治的 なものと社会 的なもの		M 「人間」概念 の変容と生命 倫理

2008年10月25日(慶應義塾大学)

2008年度 社会思想史学会総会 議題

1. 議長選出

2. 報告事項

- (1) 会員の異動について
- (2) 会費納入状況について
- (3) 第33回および第34回大会について
- (4) 本年度および次年度以降の『社会思想史研究』について
- (5) 業務委託について
- (6) その他

3. 審議事項

- (1) 2007年度決算および会計監査報告
- (2) 2008年度予算
- (3) 幹事の選任および常任幹事の交替について
- (4) 退職者の会費について
- (5) その他

10月24日

17:00 - 19:00 幹事会 《研究室棟1階 B会議室》

プログラム

10月25日

09:00 - 11:00 セッション 《第一校舎1階・2階》

A 18・19世紀ドイツの社会経済思想 《109》

世話人 高柳良治(国学院大学[名])・原田哲史(四日市大学)

報告者 杉田孝夫(お茶の水女子大学)・神山伸弘(跡見学園女子大学)

討論者 原田哲史・高柳良治

司会 原田哲史

B 政治思想の変貌 思想史研究と理論研究のあいだ 《122》

世話人 太田義器(摂南大学)・小田川大典(岡山大学)・安武真隆(関西大学)

司会 太田義器(摂南大学)

報告 小田川大典(岡山大学)・井上彰(東京大学大学院)

C 生政治と抵抗 フーコー理論の現在と可能性を展望する 《111》

世話人 佐藤嘉幸(筑波大学)

報告者 佐藤嘉幸・高桑和巳(慶應義塾大学)・箱田徹(神戸大学大学院博士課程)

司会 鷗飼哲(一橋大学)

D 討議デモクラシーを討議する 《112》

世話人 鳴子博子(中央大学)

報告者 重森臣広(立命館大学)・川原彰(中央大学)・鳴子博子

E 自由主義思想の射程 《122》

世話人 森岡邦泰(大阪商業大学)

報告者 南森茂太(関西学院大学大学院)・森岡邦泰

司会 中澤信彦(関西大学)

F 日本における「反グローバル化運動」の生成と展開 《124》

世話人 梅森直之(早稲田大学)

報告者 栗原康(早稲田大学大学院)・仲田教人(早稲田大学大学院)

11:10 - 11:55 自由論題報告 《第一校舎1階・2階》

フォイエルバッハ後期思想の再評価 《109》

報告者 河上睦子(相模女子大学)

司会 平子友長(一橋大学)

精神哲学の体系化 1902年 - 09年におけるクロウチェ哲学の展開 《110》

報告者 倉科岳志(立教大学事務員)

司会 崎山政毅(立命館大学)

アドルノと反ユダヤ主義研究プロジェクト 国民社会主義における反ユダヤ主義 《111》

報告者 古松丈周（関西大学非常勤講師）

司会 細見和之（大阪府立大学）

清沢列のモダンガール論 《112》

報告者 佐久間俊明（総合研究大学院大学）

司会 岩崎正弥（愛知大学）

ハンナ・アーレント、排除なき複数性のための政治哲学 判断力理論を手掛かりに 《122》

報告者 山本圭（名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程）

司会 森川輝一（名城大学）

国境を越えた分配的正義の問題 グローバルな正義と国際的正義の観点から 《124》

報告者 上原賢司（早稲田大学大学院）

司会 山岡龍一（放送大学）

11:55 - 13:00 昼食

13:00 - 14:00 総会 《南館地下4階 ディスタンスラーニング室》

14:10 - 14:55 自由論題報告 《第一校舎1階・2階》

貨幣ヴェール説からパサーージュの分光学へ W.ベンヤミンの経済思想の再構成 《108》

報告者 松井尚興

司会 中山智香子（東京外国語大学）

「学徒出陣」と慶応義塾の『戦没者名簿』 《109》

報告者 白井厚（慶応義塾大学名誉教授）

司会 岩崎稔（東京外国語大学）

ナショナルミニマムの政治・社会論 L・T・ホプハウスの「自由主義的社会主義」とフェビアン社会主義 《110》

報告者 山本卓（法政大学非常勤講師）

司会 八田幸二（中央大学）

アンリ・ルフェーヴルの「疎外 - 分離論」とフランスにおける空間論 《111》

報告者 平田周（東京外国語大学大学院博士課程）

司会 宇城輝人（福井県立大学）

マックス・ウェーバーと科学の価値 《112》

報告者 坂敏宏（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

司会 野口雅弘（岐阜大学）

ミシェル・フーコーにおける知の概念 《122》

報告者 藤田公二郎（一橋大学社会学研究科博士課程 / パリ12大学哲学科修士課程）

司会 水嶋一憲（大阪産業大学）



価値多元性擁護の公共哲学 サンデルとテイラーの比較を中心に 《124》

報告者 高田宏史（早稲田大学助手）

司 会 小田川大典（岡山大学）

15:05 - 17:25 シンポジウム 《南館地下4階 ディスタンスラーニング室》

民衆思想史をとらえなおす：その可能性と課題

報告者 植村邦彦（関西大学）「民衆思想史の可能性 良知力の仕事を手がかりに」

報告者 梅森直之（早稲田大学）「民衆の「来歴」 「総力戦」から「戦後」へ」

司会/コメント 崎山政毅（立命館大学）「コメント グローバリ化時代の研究展開をふまえて」

18:00 - 懇親会 《西校舎 山食》

10月26日

10:00 - 10:45 自由論題報告 《第一校舎1階・2階》

ハイデガーからマルクスへ 五〇年代のハーバーマス思想の再構成 《108》

報告者 泉啓（東北大学大学院文学研究科）

司 会 宮本真也（明治大学）

丘浅次郎のネットワーク 近代日本の共和主義が生まれ育つ基盤 《109》

報告者 佐貴正和（総合研究大学院大学文化科学研究科）

司 会 福井直秀（京都外国語大学）

カントにおける他者承認の思想 人格理念の発生論的解釈 《110》

報告者 隠岐理貴（早稲田大学大学院政治学研究科）

司会 原田哲史（四日市大学）

< 神的暴力 > 概念試論 ヴァルター・ベンヤミン『暴力批判論』をめぐる 《111》

報告者 白井亜希子（一橋大学大学院社会学研究科博士課程）

司 会 大貫敦子（学習院大学）

構造主義的マルクス主義と階級形成 アルチュセールとE.P. トムスン 《112》

報告者 福田学（兵庫県立神戸商科大学大学院）

司 会 佐藤嘉幸（筑波大学）

エティエンヌ・バリバルの脱植民地化論 内的植民地の解消 《122》

報告者 太田悠介（東京外国語大学大学院博士後期課程）

司 会 大一中一（法政大学）

行動する地球仏教における自己観 「相互依存的連係生起」によるその転換と解放 《124》

報告者 紺野茂樹（東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位修得退学）

司 会 鳴子博子（中央大学）

10:55 - 11:40 自由論題報告 《第一校舎1階・2階》

前期《精神医学研究時代》にみるヤスパース哲学の真髄 《108》

報告者 榊井靖之(京都大学経営管理大学院助教)

司会 田中智彦(東京医科歯科大学)

ニーチェの起源論 パウル・レーとの関係を中心に 《109》

報告者 大久保歩(東京大学総合文化研究科超域文化科学専攻博士課程)

司会 三島憲一(東京経済大学)

エコロジーと生の脆さ 《110》

報告者 高原幸子(中京大学ほか)

司会 上野成利(神戸大学)

「仁恵」をめぐる闘争 1870・80年代東京における救貧医療論の諸相 《111》

報告者 大和孝明(一橋大学大学院社会学研究科博士課程)

司会 高草木光一(慶應義塾大学)

フィレンツェ人の共和政体について マキアヴェッリ政治学の歴史的起源に関する考察 《112》

報告者 村田玲(早稲田大学政治経済学術院助手)

司会 石黒盛久(金沢大学)

沖縄を想起すること 岡本恵徳「水平軸の発想 沖縄の『共同体意識』」をめぐって 《122》

報告者 土井智義(大阪大学文学研究科博士後期課程、日本学術振興会特別研究員)

司会 梅森直之(早稲田大学)

世俗的言語への「翻訳」と民主主義 公共的理性と宗教の関連をめぐるハーバーマスの見解について 《124》

報告者 桐原隆弘(下関市立大学非常勤講師)

司会 日暮雅夫(盛岡大学)

13:00 - 15:00 セッション 《第一校舎1階・2階》

G ヒュームとスミス(スコットランド啓蒙思想研究) 《109》

世話人 篠原久(関西学院大学)

報告者 林直樹(京都大学大学院博士後期課程)

H 21世紀のカール・ポラニー 《111》

世話人 崎山政毅(立命館大学)

報告者 クラウス・トマスベルガー(ベルリン工科大学)・ミケル・カンジャーニ(ベネチア大学)・西谷修(東京外国語大学)

討議者 中山智香子(東京外国語大学)

I 政治思想と文学 《122》

世話人 小田川大典(岡山大学)

司会 小田川大典(岡山大学)

報告者 堀田新五郎(奈良県立大学)・森川輝一(名城大学)

J マルクス主義の展開 《124》

世話人 太田仁樹(岡山大学)

報告者 相田慎一(専修大学北海道短期大学)

15:10 - 17:10 セッション 《第一校舎1階・2階》

K スコットランド啓蒙研究の現状をめぐって 《109》

世話人 田中秀夫(京都大学)

報告者 田中秀夫・佐々木武(東京医科歯科大学名誉教授)

L 政治的なものと社会的なもの 《112》

世話人/司会 齋藤純一(早稲田大学)

報告者 森政稔(東京大学)・重田園江(明治大学)

M 「人間」概念の変容と生命倫理 《124》

世話人 高草木光一(慶應義塾大学)

報告者 沢山美果子(岡山大学非常勤講師)・粥川準二(ジャーナリスト)

討論者 土屋敦(東京大学 G-COE 「死生学の展開と組織化」特任研究員)

学会事務局からの連絡とお願い

本年度大会プログラム、大会報告集、2008 年度年報（第 32 号）をお送りいたします。ただし、会費を現段階で 18000 円以上滞納しておられる方には、年報の送付を一時停止させていただいています。また、大会参加確認用葉書、大会懇親会および弁当注文用振込用紙も共に発送させていただきます。

会費納入のお願い

まだ納入されていない方は、同封の振込用紙を用いてお振込みくださいますようお願いいたします。学会費は一般会員 9000 円、院生会員・非常勤講師 6000 円です。

印刷物の配布について

大会中、報告等で印刷物の配布をされる方は、各自製作の上、報告会場まで直接ご持参ください。受付では一切のコピーをいたしません。ご協力くださいますようお願いいたします。

大会報告集およびプログラムのホームページ掲載

本年度も大会報告集を PDF 形式で学会ホームページに公開しております。その他、大会に関する最新情報も学会のホームページで公開しております。

社会思想史学会のホームページは <<http://www.soc.nii.ac.jp/shst/>> です。

『社会思想史研究』バックナンバーの割引販売

『社会思想史研究』第 26 号、第 27 号および第 28 号を大会当日に割引販売いたします。1 部につき 950 円です。また、2008 年末まで郵送でも販売いたします（メールで事務局宛にお申し込みください）。この場合は、一部につき 950 円 + 郵送・梱包費 200 円です。お手許にない方はこの機会をぜひご利用くださいますようお願いいたします。

第 26 号（2002 年） 特集「歴史と思想のダイナミズム」

第 27 号（2003 年） 特集「思想史研究の新たな展開にむけて」

第 28 号（2004 年） 特集「権力と公共圏」

\* 各号の詳しい内容については学会ホームページをご覧ください。

大会開催校からの連絡とお願い

印刷物の配布について

大会中、報告等で印刷物の配布をされる方は、各自製作の上、報告会場まで直接ご持参ください。期間中、受付では一切のコピーをいたしません。

懇親会について

10月25日(土)の懇親会は午後18時より、慶應義塾大学西校舎山食にて開催されます。懇親会費は5000円です。参加される方は大会参加確認用葉書の該当箇所をチェックの上、10月15日までにご投函ください。また代金は以下の大会開催校の郵便貯金口座に、同封した振込用紙で10月17日までにご入金ください。

郵便振替口座

口座番号：00170 - 7 - 426565

名義：社会思想史学会 全国大会開催校

昼食(弁当予約)について

ご希望の方には開催校側で10月25日(土)と10月26日(日)の昼食用として弁当をご用意いたします。価格は各1000円です(税込み)。ご希望の方は振込用紙の通信欄の該当箇所をチェックし、合計金額を上記の口座に、同封した振込用紙で10月17日までにご入金ください。

\* したがいまして、「社会思想史学会 全国大会開催校」への振込金額は、  
1000円(1食のみ、懇親会不参加) 2000円(2食のみ、懇親会不参加)  
5000円(弁当なし、懇親会参加希望) 6000円(1食、懇親会参加希望)  
7000円(2食、懇親会参加希望)のいずれかになります。

大会受付

大会受付は、10月25日(土)第一校舎入口になります。参加者はまず、こちらの窓口で受付をしてください。

社会思想史学会 第33回大会 (2008年10月25日・26日 於:慶應義塾大学)  
目次

## シンポジウム

民衆思想史をとらえなおす:その可能性と課題

## セッション

- A 18・19世紀ドイツの社会経済思想
- B 政治思想の変貌
- C 生政治と抵抗 フーコー理論の現在と可能性を展望する
- D 討議デモクラシーを討議する
- E 自由主義思想の射程
- F 日本における「反グローバル化運動」の生成と展開
- G ヒュームとスミス(スコットランド啓蒙思想研究)
- H 21世紀のカール・ポラニー
- I 政治思想と文学
- J マルクス主義の展開
- K スコットランド啓蒙研究の現状をめぐる
- L 政治的なものと社会的なもの
- M 「人間」概念の変容と生命倫理

## 自由論題報告

フォイエルバッハ後期思想の再評価

報告者:河上睦子

精神哲学の体系化 1902年 - 09年におけるクローチェ哲学の展開

報告者:倉科岳志

アドルノと反ユダヤ主義研究プロジェクト 国民社会主義における反ユダヤ主義

報告者:古松丈周

清沢列のモダンガール論

報告者:佐久間俊明

ハンナ・アーレント、排除なき複数性のための政治哲学 判断力理論を手掛かりに

報告者:山本圭

国境を越えた分配的正義の問題 グローバルな正義と国際的正義の観点から

報告者:上原賢司

貨幣ヴェール説からパサーージュの分光学へ W.ベンヤミンの経済思想の再構成

報告者:松井尚興

「学徒出陣」と慶応義塾の『戦没者名簿』

報告者：白井厚

ナショナルミニマムの政治・社会理論 L・T・ホプハウスの「自由主義的社会主義」とフェビアン社会主義

報告者：山本卓

アンリ・ルフェーヴルの「疎外 - 分離論」とフランスにおける空間論

報告者：平田周

マックス・ウェーバーと科学の価値

報告者：坂敏宏

ミシェル・フーコーにおける知の概念

報告者：藤田公二郎

価値多元性擁護の公共哲学 サンデルとテイラーの比較を中心に

報告者：高田宏史

ハイデガーからマルクスへ 五〇年代のハーバーマス思想の再構成

報告者：泉啓

丘浅次郎のネットワーク 近代日本の共和主義が生まれ育つ基盤

報告者：佐貫正和

カントにおける他者承認の思想 人格理念の発生論的解釈

報告者：隠岐理貴

< 神的暴力 > 概念試論 ヴァルター・ベンヤミン『暴力批判論』をめぐって

報告者：白井亜希子

構造主義的マルクス主義と階級形成 アルチュセールとE.P. トムスン

報告者：福田学

エティエンヌ・バリバルの脱植民地化論 内的植民地の解消

報告者：太田悠介

行動する地球仏教における自己観 「相互依存的連係生起」によるその転換と解放

報告者：紺野茂樹

前期《精神医学研究時代》にみるヤスパース哲学の真髄

報告者：榊井靖之

ニーチェの起源論 パウル・レーとの関係を中心に

報告者：大久保歩

エコロジーと生の脆さ

報告者：高原幸子

「仁恵」をめぐる闘争 1870・80年代東京における救貧医療論の諸相

報告者：大和孝明

フィレンツェ人の共和政体について マキアヴェッリ政治学の歴史的起源に関する考察

報告者：村田玲

沖縄 を想起すること 岡本恵徳「水平軸の発想 沖縄の『共同体意識』」をめぐる

報告者：土井智義

世俗的言語への「翻訳」と民主主義 公共的理性と宗教の関連をめぐるハーバーマスの見解について

報告者：桐原隆弘